

平成29年度 生駒市防災会議〈会議録（要旨）〉

I 開催日時 平成30年3月27日（火）午後2時から

II 開催場所 生駒市役所 大会議室

III 出席者

会 長 小紫会長（生駒市長）

委 員 山本委員（副市長）、古川委員（水道事業管理者）、大西委員（総務部長）、寺西委員（建設部長）、中田委員（教育長）、杉本委員（消防長）、松本委員（消防団長）、木村委員（関西電力㈱奈良支社長）、片尾委員（京都大学准教授）、牧委員（京都大学教授）、平岩委員（自主防災会を組織する者）、溝口委員（医師会長）、久保委員（商工会議所会頭）、森岡委員（自治連合会副会長）、藤村委員（民生・児童委員連合会理事）、笹埜委員（地域婦人連絡協議会会長）、永野委員（赤十字奉仕団委員長）、中谷委員（市議会議長）、成田委員（市議会企画総務委員長）、林委員（市民公募委員）、富田委員（市民公募委員）

委員代理 牧田（奈良県郡山土木事務所長）、威徳（生駒警察署長）、福本（西日本電信電話㈱奈良支店設備部部长）、平田（近畿日本鉄道㈱生駒駅長）、有山（北倭土地改良区理事長）

事務局 杉浦（防災安全課長）、古林（防災安全課長補佐）、甫田（防災係長）、西川（防災安全課）、巽（経済振興課長補佐）、吉田（経済振興課）、澤井（30年度危機管理監）

IV 欠席者 松井（奈良県郡山保健所次長）、野村（日本郵便株式会社生駒郵便局長）、秋山（大阪ガス㈱導管事業部北東部導管部緊急保安チームマネージャー）、久内（奈良交通㈱北大和営業所長）、井上（生駒建設業協会会長）

V 議事内容

1 開会

2 会長挨拶

会 長 昨年10月の台風21号をはじめとし、台風の接近やそれに伴う被害が増加しつつあります。台風などの接近に伴い今後も「避難勧告」などの避難情報を発令し、避難所を開設する機会がましてくると考えられます。

このたび4月から生駒市においても「危機管理監」を置くことになりました。これにより災害発生時の対応や平常時の防災体制の充実を図っていきます。

3 委員の紹介

4 報告案件

（1）平成29年10月22日「台風21号」について

会 長 報告案件について事務局からお願いします。

事務局 では、報告案件の平成 29 年度 台風 21 号について報告させていただきます。

台風 21 号の影響等時系列で説明させていただきます。

10 月 21 日土曜日 21 時 49 分に大雨洪水注意報が発令され、翌日の 10 月 22 日日曜日に大雨洪水暴風警報が発令されました。

本市では、13 時に災害警戒体制 1 号警戒配備体制、14 時に 2 号警戒配備体制をとり、14 時 40 分に災害警戒本部を設置しました。

16 時に自主避難のための避難所を、生涯学習施設 4 箇所を開設しました。

16 時 20 分、土砂災害警戒情報を発表され、緊急速報メールが配信されました。

このときに、西松ヶ丘の一部に避難指示（緊急）を発令しました。

16 時 50 分、災害対策本部を設置し、17 時に避難準備・高齢者等避難開始を生駒市全域に発令し、市内 30 箇所に避難所を開設しました。

発令方法は、各自治会長に直接電話連絡を入れること、防災行政無線（同報系）による放送、緊急速報メールを配信すること、消防団による広報活動を行いました。

22 時 20 分、市内 5 地域に避難勧告を発令、更に 23 時 20 分に、市内 4 箇所に避難勧告を発令しました。

台風 21 号は、10 月 22 日から 23 日日付が替わる頃に最接近し、市内でも多くの被害が生じたところでございます。

被害に関しましては、人的被害 重傷 1 人、非住家被害 1 棟、その他被害 道路 14 箇所、上記以外 108 件ございました。

この 3 月に道路被害の「市道門前鬼取線」の復旧工事が完了し、災害被害のうち生駒市で対応する災害対応は完了しております。

台風 21 号の災害対応と衆議院議員選挙の事務が重なりました。

防災安全課、全部長、選挙事務に当たっていない職員で、災害に備えていましたが、結果的に人員不足となりました。

このような職員配置の課題のほかに、避難準備・高齢者等避難開始を発令の際、日の明るいうち（安全なうち）に早い段階で情報を発表すること、「避難準備・高齢者等避難開始」「避難勧告」「避難指示（緊急）」の意味に関する市民からの問い合わせが多かったこと、避難勧告や避難所開設情報など情報発信のタイムロス、本部体制での職員の災害事務の不慣れなど、さまざまな課題が見えてきました。

課題に対する現在の取り組みとして、「避難準備・高齢者等避難開始」などの言葉を理解してもらえるように、広報紙に掲載すること、防災講座の依頼があった時は必ず説明を加えることを行っています。

また今年の 1 月から防災研修として「避難所」に関する研修を行いました。こういった職員研修は、内容を変えて実施する予定です。

更に、危機管理監が4月から配属されるので、危機管理監から意見等いただきながら、このさまざまな課題に取り組んでいきたいと思います。

会 長 何か委員の皆様から意見はございますでしょうか。

中谷委員 台風当日が選挙事務と重なったことは分かるが、市内の避難所が開設されたとの情報が入り、近所の高齢者をいちばん近い避難所「コミュニティセンター」へ同伴したが、明かりはついておらず、正面入り口の閉まったままだった。この件について何度も電話連絡をしたのだが、警備員や職員の体制の取り方、連絡の仕方などについて徹底しておいてほしい。

会 長 避難してこられた時間帯は職員が出勤しており、受け入れ態勢ができていなかったわけではないが分かりにくい状況となってしまった。そういった誤解が生じることが無いように対処したい。

藤村委員 真弓小学校が避難所に指定されているが、築年数がだいぶたっており雨漏りがひどい。避難所があのような状態では困る。メンテナンスをしてほしい。

また、市民の中には「避難」といわれても、どこに避難したらよいか分からない方が多いように思う。避難所の周知をしてほしい。

会 長 避難所の周知については防災担当部局において自治会や自主防災会などを通じて今後も積極的に周知を行っていく。

真弓小学校については平成30年度 建物の改修を予定している。その他の施設についても順次改修を行っていく。

VI 審議案件

(2) 「生駒市地域防災計画」の修正について

事務局 お手元の「資料1 地域防災計画とけ込み修正案」と「資料2 新旧対照表」をご用意ください。

主な修正した事項は2つございます。

一つ目は、平成30年4月1日の行政組織の改編によるものです。

この中には、課の名称変更や危機管理監の採用に伴う修正でございます。

二つ目は、災害時に連携する団体の記載もれや団体名称の変更による修正でございます。

では、代表的なもののみ説明させていただきます。

「資料2 新旧対照表」をご覧ください。

1枚めくっていただきますと、左側が修正前で右側が修正後となっています。

なお、一番左側にページ数を記載していますので、このページについてご説明させていただきます。

まず、11ページ、第2節 風水害特性です。1 既往災害の表の下段に平成29年

台風 21 号について追記しました。

続きまして、50 ページをご覧ください。5 枚めくっていただくと、動員表がございます。

台風 21 号で警戒体制等設置した際、所属や動員数等、改善しなければならなかった点や、組織の改編及び危機管理監を組み込み、動員体制を修正しました。

また、この動員表を修正している最中、警戒本部の体制が不明確となっていることに気づき、1 枚戻っていただいたページに、警戒本部編成表を追加しました。

このページは、災害警戒本部設置直後の体制を表しております。

53 ページ以降は、組織の改編に伴う名称の修正や、連携先の団体名の修正等が主な修正事項となっております。

説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしくお願いたします。

会 長 このことについてご意見はございませんか。

委 員 意見なし

会 長 では、「生駒市地域防災計画」の修正案について承認いただけますでしょうか。

委 員 異議なし

会 長 では、「生駒市地域防災計画」の修正案の修正案は承認されました。

ここで、平成 26 年度、27 年度とこの「生駒市地域防災計画」の改定にお力をいただきました。京都大学防災研究所教授の牧先生にご意見をいただきます。

牧委員 防災計画の内容については、災害を経験したところ熊本地震や北九州豪雨災害などについての対応を反映し修正を行っていくことが望ましい。

熊本地震のときの車中泊対応等。

計画をたて、計画に添った訓練を行っていくことが重要。

災害が起こってから情報発信しても住民には伝わらない。平時に関心を持ってもらうことが大切。(避難所の自主運営についても事前に訓練等で市民へ周知しておく)

職員の対応については台風などの災害は時間的余裕がある。

災害基本計画の見直しによる防災計画の見直しが必要となってくる。生駒市の防災計画は進んでいて「受援計画」についても掲載されているが、受援マニュアルも必要。その他に借上げ仮設住宅の必要性など、平成 30 年度も更にバージョンアップしていく必要があると思います。

VI その他

(1) ため池ハザードマップについて

会 長 ため池ハザードマップについて事務局からお願いします。

事務局 今年度は災害重点ため池についてのハザードマップを2箇所で作成いたしました。お手元の資料、南田原町の「疋田上池、疋田中池、疋田新池」、もうひとつは小平尾町の「新池、大磐城池、藤城池」です。30年度に対象地域に配布予定です。

また、災害重点ため池については今後とも準じハザードマップを作成していく予定です。

久保委員 高山ため池のハザードマップを充実させてほしい。竜田川水系だけでなく富雄川水系も充実させてほしい。

会 長 「高山ため池ハザードマップ」既に作成されており富雄川推計をおざなりにしているわけではない。

事務局 平成32年を目途に竜田川水系および富雄川水系ともに充実させていく。

会 長 本日の予定していた案件はすべて終了いたしました。他にご意見等ございませんか。

事務局 最後に平成30年度から本市に「危機管理監」を置くことになりました。本日、就任予定の澤井が参っておりますので、一言後挨拶を申し上げます。

澤 井 ただ今ご紹介いただきました澤井です。阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震、今までに経験した被災地での体験をこれからの業務に活かして生きたいと思えます。

会 長 では、これをもちまして平成29年度 生駒市防災会議を閉会いたします。